

校内研究通信

令和4年11月25日
福生市立福生第六小学校
研究推進部通信 Vol. 3

研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を通して～

昨年度の研究アンケートで、児童の粘り強さや、最後まであきらめずに取り組むことに課題があった。そのため、資質・能力の三観点のうち、「主体的に学習に取り組む態度」の向上を図ることとし、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を生かしながら研究を進める。

11月30日（水）

第三回研究授業

国語科研究グループ

授業者 亀井 信也 教諭

教科名 国語科

単元名 中心となる語や文を見付けて要約し、調べたことを書こう

教材名 「世界にほこる和紙」

会場 4年2組教室

当日の流れ (特別時程)

12:45 給食終了・下校開始
13:00 完全下校
※授業開始時刻に間に合うよう、
速やかな児童の完全下校に
御協力をお願いします。

13:15～13:20 学習の準備
13:30～14:15 研究授業
14:20 4年2組下校

14:30～15:00 協議会（学校図書館）
学校長 挨拶
分科会提案・自評
研究協議

15:00～15:55 指導講評
講師 東京都教育庁指導部 義務教育指導課
指導主事 宮西 真 先生

謝辞

出席される先生方
東京都教育委員会より 宮西 真 指導主事
福生市教育委員会より 竹内 秀礼 指導主事
福生市学力向上推進委員会より
福生第一小学校 高瀬 智子 校長
福生第二中学校 小出 宏 校長
福生市小中学校より1名ずつ（9名）

協議の視点

- ・「世界にほこる和紙」で学んだ要約の仕方が、自分の力で要約文を書くことに生かされているか。
- ・文章を読んで理解することが要約することにつながっているか。
- ・書いた要約文をグループで発表し合うことが学びを深めることになっているか。

授業内容・協議会について

教科 国語科 単元名 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう
教材名 「世界にほこる和紙」

本時の目標……伝統工芸に関する本について、伝統工芸のよさを中心に要約することができる。
本時のねらい……伝統工芸のよさが書かれているところを中心に要約して伝え合おう。

目指す児童像

「自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子」

めざす児童像に迫る手だて

①学習活動の工夫

日本の伝統工芸について理由や例を挙げて考えを文章で表現することを目指している本単元では、二つの工夫を行う。一つ目は、導入の際に、学習のゴール地点の段階を絵で示し、児童と学習計画を立てる。学習の第一段階を伝統工芸について書かれた「世界にほこる和紙」を教材として、中心となる語や文を確かめながら、文章全体の内容を要約する学習に向かわせる。更に並行読書を行い、第二段階を自分で選んだ題材についての説明文を書くこととする見通しを立たせる。

二つ目は、書くために必要な、文献や資料を読む力を十分に発揮させるため、教科書で学習した内容を生かし、中心となる語や文を確かめることに着目させる学習を行う。

②教科横断的な学習の展開

・伝統工芸に興味をもたせるために、図画工作科において実際に和紙作りを体験したり具体物に触れたりする活動を取り入れる。児童の関心の高い図画工作科の単元と関連を図ることで、自分の考えをもって課題に取り組むことができるようにする。

③ICT 機器の活用

・教師が百科事典などの資料から厳選した情報を、タブレット型端末を通して児童に送ることで、情報を正確に読み取り、整理して書けるようにする。

協議について

*短冊は3色あります。

グループでなく、各自で書いてください。14時25分頃までに記入してください。

青…よかった点

赤…改善点

黄…質問等

❀ ☆研究推進部の先生方へ☆ ❀

お疲れさまです。

やっと、11月30日の、おおかたの予定が決まりました。

(来校される校長先生が、まだ分かりませんが…)

この研究通信の確認と、当日の仕事の割り振りをしたいので、

お忙しい中申し訳ありませんが、クラブ終了後、小会議室にて研推部会を行います。

急でごめんなさい。

よろしくおねがいします。

小林

司会・式次第	小林
記録 (写真)	井澤・岡
協議会 (紙・マジック・マグネット等)	前野 藤橋
会場設営 (学校図書館) (ホワイトボード・PC・HDMIコード・テレビの準備も)	
協議会 記録	小畑
飲み物・コップ・お盆等の用意	小林